

放課後等デイサービス（ マカナ ） 事業所評価結果（スタッフ）

配布数

6

回収数

6

回収率

100

%

4

年度

（評価実施日：令和 5年 4月）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない(わからない)	課題や工夫している点について
環境・体制整備	①	活動スペース等、十分に確保されているか	5			プレイルームの仕切りを外し、移動式の机等の導入を行いスペースの確保。必要に応じ仕切りの設置は行う。死角部分の把握。
	②	設備等にバリアフリー化の配慮が適正になされているか	6			個人の意見を聞き足台の設置。荷物棚の前の通路が狭く込み合う場合があるため、整理と見守りを行う。段差がなくトイレや出入口の広さも十分にある。畳スペースに上がる高さが低いとよい。利用者が飛び降りたくなる高さである。
	③	職員の配置数は適切であるか	6			配置転換や、新規採用により充足している。週1回の間接作業に時間もとれている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が意識して取り組んでいるか	4		2	全体朝礼のGood&newは良いが、各事業所振り返りの深掘をしたほうが良いと感じる。各打合わせ、終礼や会議時に都度振り返りの実施。PDCまではミーティングで行えているが、AにつなげるとこまではCの段階で至っていない。
	⑤	保護者向けの評価表の活用等によりアンケートを実施し保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4		2	毎年行っている評価表・アンケート・保護者の意見をもとに話し合い改善に努めている。アンケートは行っているが、1つ1つ見るのは難しい所もある。
	⑥	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	ホームページで公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	指摘内容があれば早急に対応。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			運転技能講習を行っており、質の向上につながっていると思う。オンライン研修や講師の先生を招いての研修。年間計画に基づいて実施。
	⑨	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		1	発達検査の結果・面談記録をもとに課題の共有。リタリコの学習を通じ標準化したツールを使用。田中ビネー知能検査。
	⑩	アセスメントを適正に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	5		1	保護者アンケート・想いや要望の確認と、子どもへ聞き取りの上で事前調査を行い計画を立てている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		会議時間が不足、立案の議題が完結しない場面が多かった。子ども達からアイデアを吸い上げ、終礼や計画書を基に職員間で情報共有し立案。リーダーを中心に意思疎通を図る
	⑫	活動プログラムが固定化されすぎないよう、工夫しているか	4		2	利用者の意思を主体とした活動を考えている。成長に合わせて変化。あえて固定化し、繰り返し伝えることもある。内容については細目の見直しが必要。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			記録を残し、不参加の職員へ共有や再度周知を行っている。

適切な支援の提供	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5		1	日々、終礼は必ず行い振り返りと利用者状況の情報共有。振り返りは行っているが、自身の意見が言えていない場面があった。30分はフルに活用。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成しているか	5			個別と集団に分け、どちらも組み合わせて立案を行う。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5		1	利用者に応じ、休日の過ごし方の設定はもっとあっても良いと思う。課題を持参している子どもには行っているが、それ以外の場合は事業所でプリント等の課題を準備している。長期休みにはフルパワーチャージ
	⑰	日々の活動の様子や支援内容、個人の状況など、記録を取ることを徹底し、報告・支援の検証・改善につなげているか	5		1	全通、連絡帳に記載。会議・打合せ・終礼時に共有し、検証と改善につなげている。簡略化による良し悪しはあったが、ピックアップすべき内容のメリハリがついたと感じる。全体通達に記入していたが今後はどうなる？
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		2	年に2回見直し。前期・後期の個別面談。会議・打合せ・終礼などで振り返りはしているが、全体では行っていない。見直しの必要性についてのチーム内での話し合いは不透明な部分がある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか (自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)	5		1	地域交流の機会は少ないと感じるか、創作活動は多く盛り込まれていると思う。活動の中で「静」と「動」の取入れをバランスよく取り入れている。活動の合間に外活動の提供やお手伝いに取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議やモニタリングには、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が、参画しているか	6			管理者の参画。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		1	保護者より頂いている。学校側の下校変更も管理者が都度調整。折越・遠藤・他職員。日々確認は行っているが、1度予定外の時刻に下校の場面があった。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	3	2	1	現在必要としている利用者がいないが、体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園児童発達支援事業所との間で、情報共有と相互理解に努めているか	6			資料や引継ぎは情報共有を密に行い支援へ繋げている。必要に応じ共有会議も行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報の提供を行っているか	4	1	1	引継ぎ資料等の状況の分かるもの作成、移行会議を行っている。必要に応じ共有会議も行っている。昨年は該当なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	3	2	1	専門機関との連携。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	コロナ対策や活動時間の問題で行えていない。
㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	担当者が参加。	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			引継ぎや連絡帳へ記録を残し、送迎時・懇談・電話連絡で情報共有している。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	6			ペアプロでの実施。年6回開催。
保護者への説明等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		1	見学时・契約・懇談・保護者会等で説明。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			引継ぎや連絡帳へ記録を残し、電話連絡や個別懇談で対応している。適切に助言が不安な場合は都度リーダーへ相談。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		1	ペアプロやオハナカフェ。保護者会・懇談・電話などで対応し連携し支援している。今年度は実施した。保護者同士となると連携は不透明である。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申し入れ等に対し、対応体制を整備（相談窓口の設置や周知）し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			都度全職員間での情報共有を適切に行っている。内容によりリーダー・管理者と対応。
	㉖	定期的に広報誌やホームページ、メールやお知らせ等を通じて、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	6			活動中に撮影した写真をブログやHP掲載、メールでの連絡通達を行っている。
	㉗	個人情報等に十分注意しているか（適切な説明・対応・管理をしている）	6			保護者へ利用者が映った写真等の掲載の可否を行っている。個人情報書類は所定の保管場所で管理。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			イラストなどを利用した視覚提示・動画・写真の活用。言葉の伝え方・使い方に気を付け意思確認を行っている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	1	週1回ボランティアの方に来ていただいているが、もっと頻度が多くても良いと思う。ミュージックdayではボランティアの方を受け入れている。依頼があった場合都度体制を整えている。
緊急時の対応	㉚	緊急時対応、防犯、感染症対応など、必要なルールやマニュアルを策定し、スタッフや保護者に周知するとともに、訓練や研修等を実施しているか	5		1	避難訓練、感染症の対応マニュアル作成の実施。研修を行っている。防犯訓練に関し座学は行っているが、不審者の侵入等の実戦形式では行っていないと思う。
	㉛	定期的に避難訓練等を行っている（避難訓練の実施について知っている）	6			毎月1回実施。
	㉜	虐待を防止するため、スタッフの研修機会の確保等、適切な対応をしているか	6			全体会議やGSK会議を実施。定期会議時に事例検討を行い情報の周知と考える機会を行っている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保護者からの同意を得る仕組みを整備しているか	6			書類を作成し、同意を得る仕組み。会議等で話し合う機会を設けている。保護者には同意書を記入してもらっている。GSKの基本的な考え方に表記有、事例や事例はないと思う。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応をしているか	6			医師の指示に従い対応。アレルギー表を作成し事業所の確認しやすい位置に掲示し情報共有。
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	6			毎日の終礼時・会議時に記録を残し、確認と共有。

満足度	④④	子ども達は、通うことを楽しみにしていると思いますか	6		楽しみにしているという声を聴くことが多い。学年が上がるにつれて行きたくないとの発言も聞かれることがある。
	④⑤	この仕事にやりがいを感じ、日々の支援に満足していますか	6		振り返りを行いながら、成長できるようにしている。日々やりがいは感じているが、水害にあった利用者宅の清掃活動を手伝ったことを聞き、さらに誇りをもった。満足いくことばかりではないが、やりがいは感じている。
	④⑥	法人・事業所は、サービスの質の向上を目指し、努力していますか	6		理念・使命を理解し業務を行っている。周りの職員の話からも真剣に向き合っていると感じられる。努力を続けていると思う。